

みんなの課題レポートを読んでいて感じたこと

- ・ 丸写しではなく、自分の言葉で書くこと
- ・ 用語については、意味を理解して、分かりやすく用いる。
- ・ 問題を解決する方法を自分なりに考えて、そのことを書く。
- ・ 自分の意見を必ず入れ、自分の意見と他の人の意見を明確に区別すること。

(「おわりに」だけでなく、その前の本文中(第1節、第2節、・・・に)

- ・ 他の人の意見を引用するときは、誰の意見か、どこで発表されたものかを明示すること
- ・ ノートやレジュメではないので、通常の部分は箇条書きなどではなく通常の文章で書く
- ・ 事例については時期を明示すること
- ・ 統計 data はなるべく最新の data を用いること

(政府や地方公共団体などのホームページを利用すると良い。出典を明示すること)

(改ざんではなく、課題レポートに相応しいように加工すると良い)

- ・ その他、書き方については「学びへの招待」を参考にする。
- ・ 枚数は A4 用紙で 5~10 枚程度
- ・ ワープロを用いて作成すること。
- ・ 参考文献については、3 個以上用いること

(新聞記事でもよい。この場合は新聞記事を切り抜いて残しておくこと)

- ・ 横書きなので数字はアラビア数字を用いたほうが見やすい(伊吹の好み)
- ・ 英数字は半角文字を用いたほうが見やすい(伊吹の好み)

## タイトル

氏名

序文（はじめに）・・・なぜ、このような問題を取り上げるのか？

第1節（節のタイトル）本文1・・・問題の論点、調査結果、問題解決の方法など

第2節（節のタイトル）本文2・・・

・・・・・・・

・・・・・・・

・・・・・・・

おわりに・・・感想、次の展開、やり残したことなど

参考文献（引用文献）をしっかり挙げる。

著者名、書名（論文名）、出版社、出版年など

[例]（著者のあいうえお順、出版年の古い順、など）

[1] 植田和弘、「環境経済学への招待」、丸善ライブラリー、1998年

[2] 宇沢弘文、「経済学の考え方」、岩波新書、1989年

[3] 富山和子、「環境問題とは何か」、PHP新書、2001年